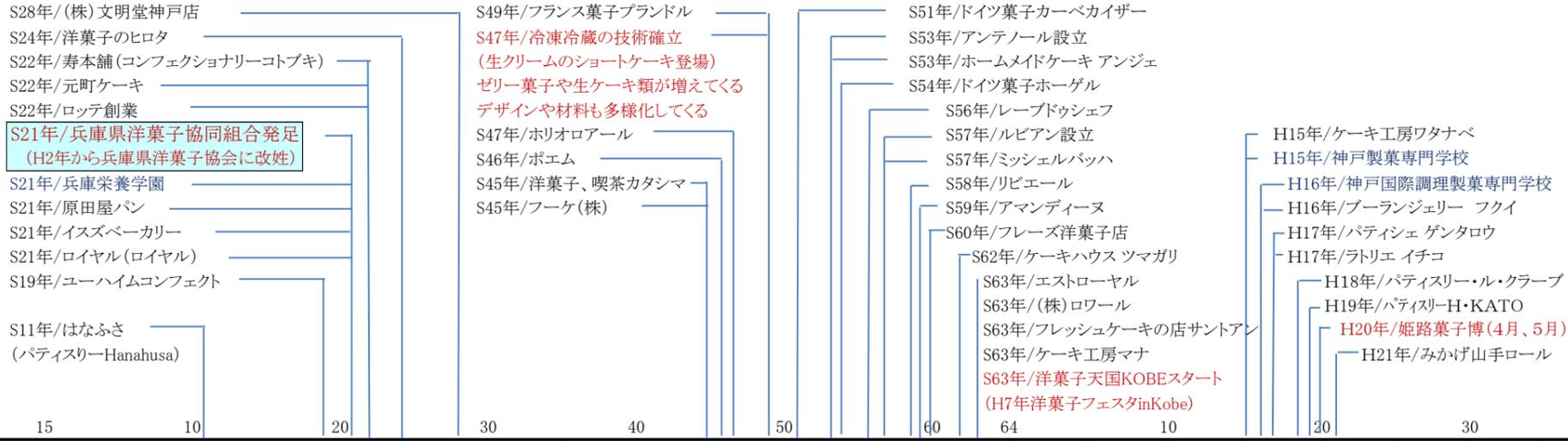


# 兵庫県洋菓子協会営業者会員創業年表

1867年(慶応3年)神戸港開港、明治元年(1868年)居留地ができる。(8,000坪)

明治32年に居留地が返還された(31年間)洋風文化の流入



M42年/コンデイトライバッカライユーハイム(青島)現ユーハイム  
 M38年/藤井パン(S26年からドンクに改姓)  
 M32年/森永製菓(ドロップの製造)  
 M32年/居留地返還  
 M30年/神戸風月堂

S11年/はなふさ  
 (パティスリーHanahusa)

S63年/エストロヤール  
 S63年/(株)ロワール  
 S63年/フレッシュケーキの店サントアン  
 S63年/ケーキ工房マナ  
 S63年/洋菓子天国KOBESTART  
 (H7年洋菓子フェスタinKobe)

H15年/ケーキ工房ワタナベ  
 H15年/神戸製菓専門学校  
 H16年/神戸国際調理製菓専門学校  
 H16年/ブーランジェリー フクイ  
 H17年/パティシエ ゲンタロウ  
 H17年/ラトリエ イチコ  
 H18年/パティスリー・ル・クラブ  
 H19年/パティスリーH・KATO  
 H20年/姫路菓子博(4月、5月)  
 H21年/みかげ山手ロール

## 明治時代

## 大正時代

## 昭和時代

## 平成時代

M28年/Le CordonBleu(パリ)  
 M20年/野中商店(T8年頃まで)  
 M15年/二宮盛神堂(神戸)  
 M10年/紅花堂(現本高砂屋)  
 M 8年/米津風月堂ビスケット製造(博覧会出品)  
 M7年/木村屋パン(東京)  
 M6年/米津風月堂  
 M5年/風月堂が洋菓子の製造販売始める(東京)

T8年/カールユーハイムが広島でバウムクーヘンを焼く  
 T10年/江崎グリコ創業  
 T11年/ユーハイムが横浜で創業  
 T12年/ユーハイム神戸で開業  
 T12年/ロシア人マカロフゴンチャロフ来日  
 T13年/フロインドリーブ(パン)  
 T15年/宝塚ホテル  
 T15年/ロシア人フョールドモロゾフ氏洋菓子店開業  
 S2年/東京木村屋(ベル)  
 S2年/神戸風月堂(ゴーフル発売)  
 S 6年/神戸モロゾフ製菓⇒モロゾフ

S31年/みかしほ料理学校  
 S32年/洋菓子店くるみや  
 S34年/ボンクール洋菓子店  
 S35年/洋菓子店エマンテ  
 S37年/ニシカワ食品  
 S38年/モンブラン  
 H40年/フィリップ・ビゴ来日(フランスパンの普及)  
 S40年/エルベ(エルペラン)  
 S40年/パオン洋菓子店  
 S41年/エーデルワイス  
 S41年/エンゼル洋菓子店  
 S41年/ボック  
 S43年/ロアール(ビルドロアール)  
 S43年/ベルン洋菓子店  
 S44年/アンリ・シャルパンティエ  
 S44年/ベルサ洋菓子店  
 S44年/ロマン洋菓子店  
 S44年/フランス風洋菓子店エトワール  
 S44年/エトワール洋菓子店

H1年/(有)ボンポアン  
 H2年/ロゼッテン  
 H2年/ファクトリー ナカタ  
 H2年/ヴィタメル・ジャボン  
 H3年/シュヴァルツヴァルト  
 H3年/西洋菓子工房ミッシェル  
 H3年/マロン洋菓子店  
 H4年/菓樹工房ユーカリブティース  
 H4年/創作洋菓子クレッシェンド  
 H4年/ケーキ屋プロップ  
 H5年/ル・プレジール  
 H6年/パティスリー パルテール  
 H7年/(有)ラ・フィユ  
 H7年/(有)ショウタニ  
 H8年/ヌーヴェルパティスリーともなが  
 H8年/パティスリーサイハラ

H14年/ラネージュ ユキオカ  
 H14年/パティスリー スーリール  
 H12年/パティスリー-KuRi  
 H12年/お菓子の木 ふじき  
 H12年/菓子工房ラ・パニニユ  
 H12年/パティスリー リッチフィールド  
 H12年/シンフォニー ナガノ  
 H12年/ヴィタメル・ジャボン  
 H12年/パティスリービスキュイ  
 H11年/ル・デセール・ターブル フロマージュ  
 H11年/パティシエ エス コヤマ  
 H11年/ガトー・マガザン・ヒグチ  
 H11年/ケーキハウス夢工房  
 H11年/パティスリー ナチュール・シロモト  
 H11年/菓子工房みわあおに五月台4丁目  
 H11年/シェフ ナカギリ  
 H10年/スタジオベリーニ(オルテンシア)  
 H10年/ケーキの菓実(Kajitsu)  
 H9年/山長菓子舗  
 H9年/(有)カズ

明治 ~ 45年  
 大正 ~ 15年  
 昭和 ~ 64年  
 平成元年(1989年~)

明治の後期には、北野地域に  
 外国人が移り住みはじめる  
 (現在の異人館街)

大正時代に入って優良な材料が増えてきた  
 (バター、マーガリン、香料、洋酒等)  
 対称3年7月、第一次世界大戦勃発  
 (神戸が造船ブームで湧き返った)  
 大正 9年頃東京(カフェ、喫茶店出現)

昭和12年盧溝橋事件を発端に日支開戦  
 支那事変⇒戦争激化  
 昭和15年経済統制、物資統制  
 価格統制令、国歌総動員法から緊急勅令発動  
 第二次世界大戦が全欧に拡大  
 世界戦時経済体制の確立、国防国家体制の樹立  
 営利活動の自由は一切認められなくなった  
 (公定価格の設定、昭和15年8月)

S39年東京オリンピック開催  
 (1964年)

1970年(S45)代、ヨーロッパの有名洋菓子店がデパ地下に展開  
 S45年/大阪万国博覧会  
 S46年5月/兵庫県洋菓子職業訓練校開設  
 S48年/神戸市、神戸ファッション都市宣言(衣食住遊)

H7年1月17日阪神淡路大震災  
 (マグニチュード 7.2)

H12年代個性の光る味が求められる  
 (パティシエブームの到来)  
 百貨店同士の合併、統合が進む(過飽和状態)  
 H15年バウムクーヘンブーム到来  
 ロールケーキブーム到来(専門店出現)  
 焼ドーナツブーム(専門店出現)  
 東京、大阪でラスクに行列が話題  
 H20年/リーマンショック(株価暴落)

梅田大丸改装  
 伊勢丹大阪駅出店  
 H25年グランフロント大阪

## 明治時代

## 大正時代

## 昭和時代

## 平成時代

日清戦争  
 日露戦争  
 1904年~1905年

第一次世界大戦  
 1914年~1918年  
 T14年9月1日/関東大震災  
 (マグニチュード 7.9)

第二次世界大戦  
 1939年~1945年  
 S20年/第二次世界大戦終結  
 (8月15日ポツダム宣言受諾する)

焼き立てチーズケーキ(スフレ)  
 H2年(1990年)代焼き立てクレープ行列(原宿)  
 イタミスブーム、ティラミスがブレイク  
 (スイーツブームの火付け役 ~ 10年)

H21年9月16日  
 鳩山由紀夫内閣発足  
 (民主党政権)

H23年/第1回神戸マラソン  
 H23年3月11日東日本大震災(マグニチュード9.0)  
 (福島原子力発電所壊滅的被災、放射能漏れ、汚染拡大)

H24年12月26日  
 安倍内閣発足する  
 (円安傾向になる)

S24年8月/1ドル360円固定為替レート  
 S30年/後半ヨーロッパに洋菓子研修に渡る職人が出てくる

H23年10月、1ドル75.6円)